

管内カメラ調査を通じて  
水道事業の健全な発展に寄与し  
国民の生活環境の改善に貢献します。

# 管カメNews

第19号



## 目次

- 石飛会長就任挨拶 .....2P
- 杉戸顧問 会長退任及び名誉顧問就任挨拶 第41回理事会開く .....3P
- 全員協議会を横浜市で開催 .....4~5P
- 水コン協東北支部技術講習会で講演 2025年度事業計画 会員動向 .....6P
- 2024年度技能講習会を開催 管カメ協役員・顧問・特別会員等名簿 .....7P
- 正・賛助会員一覧 .....8P



一般  
社団法人

全国水道管内カメラ調査協会

# 新会長のもと更なる普及拡大へ

会長就任にあたって

## 資産管理のための“標準装備”目指す

一般社団法人全国水道管内カメラ調査協会 会長 石飛博之



この度、前会長の杉戸大作名誉顧問の後を継いで会長に就任した石飛博之です。当協会の発足当初から、協会を牽引されここまで発展させてこられた杉戸名誉顧問の多大な功績に思いを致しますと、その重責に身の引き締まる思いです。

私が、当協会をよく知るようになったのは、平成23年1月に厚生労働省水道課長（当時）に就任し、同年4月に当協会が一般社団法人化された頃でした。同年3月には未曾有の東日本大震災が発生し、爾来国を挙げて被災地の復旧、復興に傾注してまいりました。同時に、この大震災を教訓に、これからの水道を含めたインフラがいかにあるべきかを根本的に考え直す必要に迫られました。

その流れで、平成30年に改正された水道法では、水道の基盤強化が目的に掲げられました。その一環として、適切な資産管理の推進が位置づけられて、水道施設の維持・修繕、施設台帳の作成、計画的な更新が規定されました。この資産管理で、当協会が推進する水道管内カメラ調査は重要な役割を果たすと考えています。

水道管内カメラ調査は、よく健康診断の胃カメラ等の内視鏡に例えられますが、内視鏡の技術は日進月歩です。水道管内カメラ調査も、通水状態のまま水道管内や管体の健康状態をより正確に把握し、今まで知られていなかった損傷・異常やその予兆を検知するための技術開発、機材の軽

量・小型化、操作性の向上など、まだまだ進化の余地があると思います。

当協会は、会員の皆様がこうした技術を携えて、各地で調査事業を実施され、水道事業者からの信頼が得られるように、調査技術水準を向上させるための情報提供や仕組みづくりを行うとともに、会員の皆様による調査事業とその成果をより多くの方々に広く知っていただき、一層活用していただけるように普及啓発を行うことが最も重要な使命だと考えております。

そのため、当協会はこれまでも「水道管内カメラ調査ハンドブック」「水道管内カメラ診断評価マニュアル」の発行や「水道管内カメラ調査認定評価制度」をスタートさせるなどの事業を行ってまいりました。これからも会員の皆様に寄り添い、よくご意見を伺って不断の改善・拡充に努めるとともに、全国的な会員の増加も目指し、これからの水道の適切な資産管理のための“標準装備”といわれるように、調査事業を積極的に展開してまいります。

会員の皆様を始め、水道界の皆様のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



# 世界に冠たる水道を次世代に

「会長退任と名誉顧問就任に思う」

## 高度で先進的な管カメ調査が可能に

一般社団法人全国水道管内カメラ調査協会 名誉顧問 杉戸大作



このたび一般社団法人 全国水道管内カメラ調査協会 会長を退任し、名誉顧問に就任いたしました。顧みますと私は当協会が設立された翌年の平成19年以降、18年の長きに亘ってご縁ができて、ご関係の皆様方に格別のご

厚情を賜り厚く御礼を申し上げます。

この間、厚生省（厚生労働省）、環境省そして昨年からは国土交通省など、関係省庁のご指導とご支援をいただきながら当協会に委員会を設け、先生方のお骨折りと水道事業体のご支援ご協力を賜り、『調査ハンドブック』の発刊や『カメラ診断評価マニュアル』の作成、「カメラ調査認定証」の発行など、世界でも類のない高度で先進的な管カメ調査が可能になってまいりました。当協会の会員数も2倍に増え、600余の水道事業体で約7,000箇所の管カメ調査が行われてまいりました。

わが国の水道は国民皆水道をほぼ達成し、レベルの高い水道として世界最高の長寿健康国を築く原動力となっています。この日本が誇る水道事業の一端を担ってこら

れました、皆様のご努力に対し深く敬意を表す次第です。

私の後任に水道行政のトップである水道課長を務められた、石飛さんにご就任いただきました。石飛さんは管カメ事業に対しても講演や論文を発表されるなど、ご造詣が深い方です。私同様皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今年の8月26日に日本水道協会から、令和7年度の「水道イノベーション賞」受賞の発表がありました。イノベーション大賞は名古屋市上下水道局で、災害復旧支援における「フリーGISソフト」の活用について。速やかな管路情報などによる復旧活動などが評価されました。またイノベーション広報特別賞として、栗本鐵工所の水道の大切さについてユーモラスな広告と、大成機工のキッザニア甲子園への出展などが受賞されました。

今回受賞されました3者ともに、管カメ事業にも積極的に力を入れてこられ、イノベーション賞の受賞をお喜び申し上げます。

私といたしましても、今後も微力ですがお役に立つことができたいと思っています。

皆様方の一層のご健康とご活躍を心からご祈念申し上げます。

### 第41回理事会開く

## 会長に石飛博之氏 杉戸大作前会長は名誉顧問に

管カメ協では2025年6月30日午後、横浜市港北区の新横浜グレイスホテルで第41回理事会を開催しました。同理事会には、杉戸会長以下全理事及び監事2名が出席、任期満了に伴う役員役職について検討し、杉戸大作会長の退任に伴う後任の会長に石飛博之理事（公益財団法人 給水工事技術振興財団専務理事）を選任しました。また中村稔副会長、二瓶正智副会長、山本政和専務理事

は再任されました。なお、杉戸前会長は新設された役職の名誉顧問に就任しました。

# 管路の適正管理に貢献

2025年度全員協議会を横浜市で開催

## 杉戸大作前会長を表彰 横浜市中村係長、國實専門会員(都立大特任准教授)が講演



石飛会長

管カメ協は、6月30日15時より横浜市港北区の新横浜グレイスホテルで2025年度全員協議会(以下全員協)を開催しました。全員協には、来賓、会員、報道機関などから約50名が出席、社員総会、理事会で決議された2024年度決算、2025年度予算、同事業計画などについて報告を行いました。

第2部「表彰」では、長きにわたり会長を務められ、このほど退任された杉戸大作名誉顧問を表彰しました。また、第3部の「講演」では、中村溪太郎横浜水道局給水サービス部鶴見水道事務所維持係長、國實誉治専門会員(東京都立大学特任准教授)がそれぞれのテーマで講演されました。

管カメ協は、6月30日15時より横浜市港北区の新横浜グレイスホテルで2025年度全員協議会(以下全員協)を開催しました。全員協には、来賓、会員、報道機関などから約50名が出席、社員総会、理事会で決議された2024年度決算、2025年度予算、同事業計画などについて報告を行いました。



杉戸名誉顧問

全員協では、冒頭杉戸大作名誉顧問が「平成19年に就任して以来18年にわたって会長を務めさせていただきました。この間、国の関係機関や協会内の委員を務めていただいた学識者の先生方のご指導や事業体の協力もあり、正会員数は2倍に増え、600余の事業体、7000箇所以上の実績を重ねてきました。水道事業は我が国が世界最高長寿健康国を築く原動力となり、当協会はその一端を担ってきたと自負しています。この度閣議決定された『第一次国土強靱化実施中期計画』を機に一層の普及拡大に向けて取り組んでいただければ」などと退任の言葉を述べられました。

石飛博之会長は、杉戸名誉顧問に改めて敬意を表したうえで「管内カメラ調査を活用することにより、全国の事業体が管路の維持管理により注力できるようになったと思います。今後とも、さらなる実績向上を目指すとともに、センサーを軸にした技術の向上・革新に取り組み、日本の水道管路システムの健全性向上に寄与してまいりたいと思います」と抱負を語りました。

全員協は3部に分けて行われ、第1部の「社員総会及び理事会決定事項の報告」では、①役員(理事・監事)の改選と役員の役職の改選について②2024年度事業報



## ますます高まるカメラ調査ニーズ



表彰状を受け取る杉戸名誉顧問

告③同決算の概要④2025年度事業計画と収支予算案について⑤定款の一部変更について⑥受注状況アンケートの実施について-の6件の報告を行いました。このうち、2025年度事業計画では、社員総会・理事会の開催、全員協議会の開催（6月30日横浜市）、協会認定カメラ技能講習会の開催（11～12月予定）、日本水道協会全国会議併催水道展へのブース出展（広島市10月29～31日）、全国水道研究発表会（同）での発表、管内カメラ調査の評価認定、管カメNews第19号の発行などが報告されました。

第2部の「表彰」では、協会設立翌年の2007(平成19年)5月に会長に就任されて以来、長きにわたって会長を務められ、管カメ調査の普及、技術の向上、協会の発展に大きな役割を果たされた杉戸大作名誉顧問に功労賞が贈られました。杉戸名誉顧問は「立場は変わっても引き続き協会発展に向け微力ながら活動してまいりたい」と決意を語りました。



中村係長



国實専門会員

第3部の「講演」では、中村係長が「水道施設の維持管理について ～水管橋等の点検事例紹介～」と題して、同局における目視および「橋梁添架管カメラ」、「ドローン」、「板厚測定ロボット」、「管内カメラ」「360°カメラ」

を用いた点検事例を写真などを多用して紹介し、さらに「カメラで撮影した映像をAIなどを駆使して定量的に実施した点検結果や老朽度の判定ができるシステムの構築」に意欲を示し、「継ぎ手部や管内流量などの制約を克服できるカメラ機器の改良や現場作業時の工夫」への期待感を語りました。

国實専門会員は「水道管内カメラ調査における診断評価の適正化に向けた取り組み」をテーマに管カメマニュアルに示された全国基準の評価に基づく「水道管内カメラ調査評価認定制度の概要を紹介。評価証発行には、管内の状況を客観的に示せるメリットがあることも話しました。現在開発中の「水道管内AI画像診断技術」についても、AI診断により画像中で劣化度が高い部分が示されるほか、評価項目等判定レベルがタイムラインのカラーバーで一覧できること、洗管前後等の差分比較表示も可能であることなどを説明しました。

全員協終了後には懇親会が行われ、飯嶋宣雄顧問の発声で乾杯、恒例の杉戸名誉顧問によるマジックショーなども行われる中、小泉明特別会員が中締めを行いました。



杉戸名誉顧問による恒例のマジックショー

# 諸活動の充実で調査実績拡大目指す

水コン協東北支部技術講習会に講師を派遣

## 國實専門会員が評価認定制度や AI 診断技術を紹介

全国上下水道コンサルタント協会東北支部の令和7年度技術講習会が9月11日午後、仙台市宮城野区の「TKP 仙台西口ビジネスセンター」で開催されました。管カメ協では同支部より講習会への講師派遣依頼を受け、國實 蒼治専門会員（東京都立大学特任准教授）が講演を行いました。

講習会は、水コン協会員、上下水道事業に関わる地方公共団体や民間技術者等約250名が出席して行われました。圧送管の管理技術や衛星画像データを活用した水道管の漏水探知システムなど様々なテーマでの講義が行われ、管カメ協では「評価認定制度及びAI診断技術の

開発（不断水管内カメラ調査）」と題して管内カメラ調査評価認定制度の概要や賛助会員の（株）東芝が中心となって開発中のAIによる画像診断技術を紹介しました。また、会場への出席者だけでなく、Zoomウェビナーによるライブ配信も行われました。

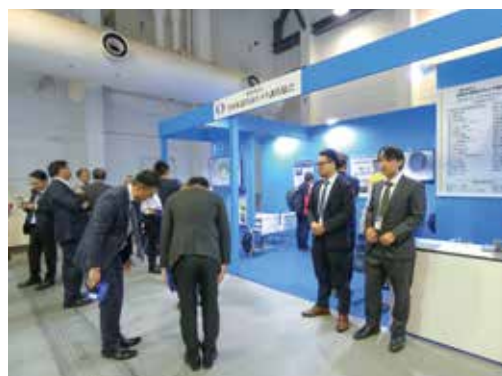


評価認定制度などを紹介する  
國實専門会員

### 2025(令和7)年度事業計画

#### 広島水道展への出展、技能講習会の開催など多彩に

- ① 社員総会の開催（2回程度開催予定＝うち1回は4月に書面審議で実施）
- ② 理事会の開催（3回程度開催予定＝4月22日、6月30日に開催済み）
- ③ 全員協議会の開催（6月30日横浜市で開催）
- ④ 協会認定カメラ技能講習会の開催（12月16日に大阪市の施設で開催予定）
- ⑤ 日本水道協会全国会議（広島市）併催水道展に出展（10月29～31日）
- ⑥ 全国水道研究発表会（広島市10月29～31日）での発表予定
- ⑦ 管内カメラ調査普及拡大に向けての講習会の開催
- ⑧ 管内カメラ調査の評価認定、管内評価認定委員会の開催（随時）
- ⑨ カメラ認定委員会の開催（随時）
- ⑩ 管カメ News 第19号の発行（10月中旬）
- ⑪ ホームページの随時修正・追加
- ⑫ 講習会受講修了者の更新、会員の受講促進
- ⑬ 水道専門紙・誌への広報・広告掲載
- ⑭ カメラ調査受注実績調査の実施
- ⑮ その他



### 会員の動向

#### 1. 会員の變更

正会員

安曇野市水道事業協同組合 ⇒ 有限会社テトラ水工 2025年10月1日付  
※安曇野市水道事業組合が退会、同組合の組合員だったテトラ水工が  
単独で会員資格を継承

# カメラ調査で管路の健康管理

2024年度技能講習会開く

## 東京都水道局研修・開発センターを舞台に 関東地区で初めての開催

管カメ協は2024年12月3日、東京都世田谷区の東京都水道局研修・開発センターで2024年度協会認定カメラ技能講習会を開催しました。講習会には、正会員の社員など14名が参加し、午前講義、午後実技の日程で行われました。

講習会は、当協会の山本政和専務理事の開講挨拶に続いて直ちに講習に移りました。

306・307号教室で行われた「講義」では、下村啓之協会技術員が「水道不断水検査カメラ -NH40シリーズ ルミナスカメラ-」、道浦吉貞協会理事が「水道管路の適正管理と管内カメラ調査の果たす役割」、そして國實誉治専門会員が「管内カメラ調査の概要と評価認定制度について」と題してそれぞれ講義を行いました。

場所を実技フィールドに移して行われた「実技」は、

受講生が5名（一部4名）ずつ3班に分かれて行われ、それぞれの班に技術指導員2～3名が付いて指導に当たりました。カメラの構造の説明を受けたのち、カメラの組立て、管内への挿入、引き出し、分解までの一連の手順を要所で注意事項の説明を受けながら全受講生が体験しました。

締めくくりに閉講式が行われ、山本専務理事の閉講の辞で幕を閉じました。



講習会風景（実技）

### 管カメ協役員、顧問、特別会員、 専門会員・委員名簿 (2025年9月1日現在)

	役職	氏名	元職・現職
役員	会長	石飛博之	公益財団法人給水工事技術振興財団 専務理事 元厚生省水道環境部長
	名誉顧問	杉戸大作	公益財団法人給水工事技術振興財団 専務理事 元厚生省水道環境部長
	副会長	中村 稔	大成機工株式会社代表取締役
		二瓶正智	コスモ工機株式会社執行役員 第二営業部長
	専務理事	山本政和	株式会社日本水機顧問
	理事	川鍋太志	カワナベ工業株式会社代表取締役
		道浦吉貞	株式会社栗本鐵工所パイプシステム 事業部担当部長
		國實誠二	株式会社国実水道代表取締役
		秋山博和	株式会社サンスイ代表取締役
		斉藤隆教	株式会社チヨダ常務取締役工事部長
		滝本佳範	株式会社トクスイ代表取締役
	監事	山下広繁	富士鉄工株式会社代表取締役
		川崎享彦	日昇工業株式会社専務取締役

	役職	氏名	元職・現職
会員	顧問	岡澤和好	元厚生省水道環境部長
		飯嶋宣雄	元東京都水道局長
	特別会員	小泉 明	東京都立大学都市環境学部特任教授
		長岡 裕	東京都市大学名誉教授
		伊藤禎彦	京都大学大学院教授
		大瀧雅寛	お茶の水女子大学大学院教授
	専門会員	石川美直	元名古屋市上下水道局管路部長
		江郷道生	元広島市水道事業管理者（公社）日本 水道協会中国四国支部名誉会員
		海道尚毅	株式会社デック西日本オフィス理事
		國實誉治	東京都立大学特任准教授
		根来 健	元京都市上下水道局水質管理センター 所長
		早川裕之	元名古屋市上下水道局管路部配水課長
		半田 周	（一社）日本ダクタイル鉄管協会事務局 主幹
		山村尊房	元厚生労働省水道課長
三浦正孝		元神戸市水道局中部センター所長	
委員		専門委員	本荘谷勇一
	天野幹太		株式会社NJS執行役員水道本部副本 部長部門マネージャー（水道）
	岡 正		元（公社）日本水道協会大阪支所次長
	星信太郎		株式会社日水コン コンサルティング本 部水道事業部副事業部長

# 全国水道管内カメラ調査協会会員

施工企業一覧 あなたの側でお役に立ちます。

## 一般社団法人 全国水道管内カメラ調査協会（正会員37社）

	会社名	住所	TEL	FAX
あ	足立建設 株式会社	〒466-0832 名古屋市昭和区駒方町4丁目24番地	052-831-3291	052-833-9635
	株式会社 新井組	〒466-0064 名古屋市昭和区鶴舞4丁目11-12	052-733-3001	052-733-3002
	有限会社 新垣設備	〒904-2224 沖縄県うるま市字大田632-1	098-973-5318	098-973-8447
	株式会社 ウォーターサポート	〒363-0018 埼玉県桶川市坂田西3丁目54-4	048-782-7180	048-782-7181
	株式会社 大城工業所	〒661-0972 兵庫県尼崎市小中島2丁目6番10号	06-6491-2842	06-6494-2044
	沖水調査サービス	〒901-2226 沖縄県宜野湾市嘉数2-1-14 102号	098-942-2131	098-942-2133
	株式会社 折本設備	〒252-0317 神奈川県相模原市南区御園4-12-12	042-748-0411	042-748-9226
か	カワナベ工業 株式会社	〒370-1203 群馬県高崎市矢中町319-6	027-352-9190	027-353-0086
	株式会社 九州事業センター	〒815-0071 福岡市南区平和1-31-35	092-521-2664	092-521-2666
	株式会社 国実水道	〒870-0131 大分市大字皆春1642番地の1	097-521-1172	097-527-6364
	株式会社 栗本鐵工所	〒550-8580 大阪市西区北堀江1丁目12-19	06-6538-7731	06-6538-7750
	コスモ工機 株式会社	〒105-0003 東京都港区西新橋3丁目9-5	03-3435-8805	03-3435-8825
さ	株式会社 サンスイ北関東支店	〒362-0059 埼玉県上尾市平方4280-1	048-783-0880	048-783-0307
	株式会社 島工業	〒963-8061 福島県郡山市富久山町福原字本町2-8	024-935-5667	024-935-5599
	昭和土木 株式会社	〒468-0001 名古屋市白区植田山5丁目2301番地	052-831-5191	052-832-2348
た	大成機工 株式会社	〒530-0001 大阪市北区梅田1-1-3-2700 大阪駅前第3ビル	06-6344-7771	06-6344-7941
	株式会社 ダイトウア	〒950-0885 新潟市東区下木戸3丁目3-51	025-274-3498	025-274-4707
	株式会社 タケコシ	〒464-0003 名古屋市千種区新西2丁目8-5	052-760-2050	052-760-2045
	株式会社 チヨダ	〒331-0064 さいたま市西区佐知川1433番地1	048-780-2735	048-780-2756
	有限会社 テトラ水工	〒399-8203 安曇野市豊科田沢7039-41	0263-73-8488	0263-73-8337
	東北企業 株式会社	〒990-2431 山形市松見町11番19号	023-622-7201	023-631-4338
	株式会社 トキワ設備	〒811-1102 福岡市早良区東入部1丁目2番47号 201	092-872-3200	092-872-3201
	株式会社 トクスイ	〒771-0142 徳島市川内町沖島84番地	088-665-4580	088-665-9125
	な	中里建設 株式会社	〒327-0312 栃木県佐野市栃本町1051	0283-62-0272
新潟企業 株式会社		〒950-0088 新潟市中央区万代4丁目4-8 COZMIX II	025-247-0123	025-241-1717
日昇工業 株式会社		〒187-0004 東京都小平市天神町四丁目14番24号	042-312-3866	042-312-3876
株式会社 日本水機		〒651-0084 神戸市中央区磯辺通2丁目2-25アクサスダイワビュアル201号	078-200-5557	078-862-8650
株式会社 二友組		〒465-0093 名古屋市名東区一社4丁目255番地	052-709-7700	052-709-7788
は	株式会社 服部組	〒456-0055 名古屋市熱田区南一番町20番3号	052-661-8211	052-654-3616
	富士鉄工 株式会社	〒536-0014 大阪市城東区鳴野西2丁目12-4	06-6962-1131	06-6969-5220
	藤野興業 株式会社	〒584-0045 大阪府富田林市山中田町1-11-8	0721-24-0118	0721-24-2709
	株式会社 フソウ	〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2丁目3-1	03-6880-2110	03-6880-2208
ま	株式会社 三井開発	〒739-0151 東広島市八本松町原4792	082-429-3231	082-429-2288
	村上建設工業 株式会社	〒467-0825 名古屋市瑞穂区柳ヶ枝町2丁目60番	052-871-6541	052-871-7437
や	安井建設 株式会社	〒458-0039 名古屋市緑区四本木930	052-621-3111	052-621-2234
	株式会社 山越	〒451-0051 名古屋市西区則武新町1丁目3番5号	052-571-8977	052-565-0746
	山城土木 株式会社	〒458-0847 名古屋市緑区浦里3-39	052-892-6128	052-892-6175

## 賛助会員4社

会社名	住所	TEL	FAX
株式会社東芝	〒212-8585 川崎市幸区堀川町72-34	044-576-6634	044-548-9561
東芝テリー株式会社	〒191-0065 東京都日野市旭が丘4-7-1	042-589-7582	042-589-8774
株式会社 日水コン	〒163-1122 東京都新宿区西新宿6-22-1 新宿スクエアタワー	03-5323-6200	03-5323-6483
株式会社 水みらい広島	〒730-0041 広島市中区小町1-25	082-258-1315	082-247-3200

(2025年9月現在)